

佐藤寿三郎の議員活動詳報

ことぶき月報 (No.243) 2018 年 12 月号

今期の市議会任期もあと1ヶ月余りとなりました。5期目最後の12月定例議会も恙なく終え茲に今議会のご報告を申し上げます。4年間(通算20年)、変わらないご指導ご鞭撻を賜りましたこと、洵にありがとうございます。活動報告は通算して243通目となりますが、日々の議員活動の積み重ねの義務であり、併せて議員としての思いの綴りでもあるかなと思っております。

20年間の議員活動を支えたものは、これも偏に支持者の皆様の、温かなご鞭撻があればこそ叶えられたものであり、衷心より御礼を申し上げます。

今後も体力と闘志がある限り、市民のため、郷里須坂のために議員活動に勤しみ度存じます。何卒、変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

良いお年をお迎えくださいますように。

終世書生気質：ブログ・千曲のかなた（日々の議員活動をお伝えしています）

【須坂市議会 12 月定例会の顛末】

1. 【私の議会内議員活動】

須坂市議会 12 月定例会は 11 月 20 日招集され、事件決議 8 件、条例 9 件、そして補正予算 9 件が上程されました。12 月 11 日日本会議が再開され、全ての議案を議了して 22 日間に亘った議会は閉会されました。

(1) 今定例会に上程された議案。

1) 事件決議 8 件。

- ① 長野広域連合規約の変更について
- ② 特定公共賃貸住宅及びその他の市営住宅の指定管理者の指定について
- ③ 須坂市美術館等文化施設の指定管理者の指定について
- ④ 須坂市笠鉾会館ドリームホールの指定管理者の指定について
- ⑤ 須坂市文化会館の指定管理者の指定について
- ⑥ 須坂市峰の原高原クロスカントリーコースの指定管理者の指定について
- ⑦ 須坂市蔵のまち観光交流センターの指定管理者の指定について
- ⑧ 市道の認定について

【私の賛否】

、 事件決議②については、市営住宅は市民の最終のセーフティー ネットと考え、市の直轄部署で管理すべき考え原案に反対しました。それ以外の事

件決議7件については、何れも原案に賛成しました。

2) 条例案9件。

- ① 須坂市峰の原高原飲料水供給施設給水条例の制定について
- ② 須坂市公民館条例の一部を改正する条例について
- ③ 市立須坂図書館設置条例の一部を改正する条例について
- ④ 須坂市合葬式墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑤ 須坂市市営住宅等に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑥ 須坂市火災予防条例の一部を改正する条例について
- ⑦ 須坂市すぎか女性未来館条例を廃止する条例について
- ⑧ 須坂市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑨ 須坂市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

【私の賛否】

条例案②については、すぎか女性未来館が廃止されるにあたり、所管であった会議室等が中央公民館に移管される。その際、会議室、託児室の区分がなされているが、仮に託児室使用の要望が無くて、且つ会議室の使用要望が室数を上回った場合は、託児室を会議室として転用使用できるとする説明は、利用者の便益を図る上からも有益であると言える。

但し託児室の利用に関しては、冷暖房使用料は減免できる心算であるが、但し、託児室であっても会議室として利用される場合は、冷暖房使用料は徴収するものとする意向は、公平性からして理解できる。これらを加味した条例案であるが、文言の言い回しが不透明であると指摘されて、修正案の提出となったようである。

各室の使用規定やそれに伴う冷暖房の減免等具体的な運用は、中央公民館が策定する館内運用規定なりで、十分解決されるのであれば上程された原案で足りると私は判断しました。

修正案が上程されたが、これは寧ろ「屋上架屋」と言える無意味な修正案と判断し、却下すべきと判断しました。而して原案に賛成しました。

原案可決に後、附帯決議が上程されました。これは前記の私の考えを補完するための内容を、明確に文字に落とす行為であり、私は附帯決議に賛成しました。

それ以外の条例7件については、何れも原案に賛成しました。

3) 補正予算(案)9件。

- ① 平成30年度須坂市一般会計補正予算第4号
補正額：1億3,807万5千円 ○通常保育事業外

- ② 平成 30 年度須坂市国民健康保険特別会計補正予算第 2 号
補正額：32 万 2 千円 ○資格点検事務等委託料外
- ③ 平成 30 年度須坂市介護保険特別会計補正予算第 2 号
補正額：624 万 6 千円 ○介護予防サービス計画給付費外
- ④ 平成 30 年度須坂市水道事業会計補正予算第 1 号
補正額・収益的收入：183 万 1 千円 収益的支出：△133 万 7 千円
資本的收入：△209 万 4 千円 資本的支出：△9 万 3 千円
- ⑤ 平成 30 年度須坂市下水道事業会計補正予算第 1 号
補正額・収益的收入：25 万円 収益的支出：△1,135 万 9 千円
資本的收入：△174 万 9 千円
- ⑥ 平成 30 年度須坂市一般会計補正予算第 5 号
補正額：2,378 万 8 千円
- ⑦ 平成 30 年度須坂市水道事業会計補正予算第 2 号
補正額・収益的支出：77 万円
資本的支出：15 万 3 千円
- ⑧ 平成 30 年度須坂市下水道事業会計補正予算第 2 号
補正額・収益的支出：9 万 6 千円
資本的支出：10 万 4 千円
- ⑨ 平成 30 年度須坂市一般会計補正予算第 6 号
補正額：7 億 3,160 万円 ○小中学校外施設整事業費

【私の賛否】

①～⑨の補正予算案は、何れも原案に賛成しました。

4) 請願

- 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

【私の賛否】

◇私は原則、市民の皆様が憲法で保障された請願権を行使されることについて、異議を唱えない主義から支持しました。

採決の結果、不採択となりました。

5) 意見書

- ① 消費税 10%への引き上げ中止を求める意見書
- ② 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書
- ③ 認知症施策の推進を求める意見書

【私の賛否】

- ① については賛成しましたが、反対多数で不採択と決しました。
- ②、③についても賛成しました。議会は全員賛成で採択しました。

(2) 今議会の予算決算特別委員会分科会で出された質疑と答弁の手控え

1) 総務文教委員会

開議日時 平成 30 年月日・開議場所 議会第 4 委員会室

Q：常備消防費のうち、多言語コールセンターの負担金について。

A：多言語コールセンターは、消防以外にも警察、ホテルなど県内で約 800 の団体が利用している。9 月までは長野県が全額運営費を負担していたが、県の国産観光推進室に対する予算が減額されたため、利用者から負担金をいただき運用していくため、6 ヶ月分 2 万円を補正することとなった。

1) 議会運営委員会

開議日時 平成 30 年 12 月 7 日

開議場所 議会第 3 委員会室

協議事項 12 月定例会追加議案外 2 件

開議日時 平成 30 年 12 月 11 日

開議場所 議会第 3 委員会室

協議事項 追加議案等外 4 件について。

2) 予算決算特別委員会

開議日時 平成 30 年 12 月 7 日

開議場所 議会第 4 委員会室

協議事項 付託案件の各分科会報告、質疑、意見、討議、討論、採決を行った結果、何れも原案とおりに可決すべきものと決した。

6) インター周辺等開発特別委員会の中間報告

開議日時 平成 30 年 12 月 11 日

開議場所 本会議場

報告事項 登壇して下記内容の報告をしました。

インター周辺等開発特別委員会の中間報告を申し上げます。

インター周辺等開発特別委員会委員長 佐藤 壽三郎

昨年の 12 月定例会以降、今定例会までの経過と取り組みについて御報告申し上げます。

◇ 1 月 24 日には、地域未来投資促進法の須坂市の基本計画及び長野地域の基

本計画が国から平成 29 年 12 月 22 日付で同意を得たことから、それぞれの基本計画の内容、地域未来投資促進法の概要、今後の進め方等について市理事者から説明を受けました。

◇ 3 月 23 日には、市理事者から事業の進捗状況について説明を受け、地権者の皆様、地元区、隣接の皆様を対象に 3 月 5 日、6 日、8 日の 3 回、地域未来投資促進法の須坂市の基本計画が国の同意を得たことを受けて開催し、175 名の方にご参加いただいた。土地利用調整計画を策定していくため、開発への協力の意向などについて、地権者に調査表を配布し、3 月中に提出をお願いしたとの報告がありました。

また、「中心市街地における考察等について」と題し、牧 重信様にご講演をいただき、インター周辺開発と中心市街地の活性化等について研究、研修を深めました。

◇ 7 月 11 日には、市理事者から事業の進捗状況について、地権者に配布した農業調整に伴う意向調査アンケートの集計結果に関して報告がありました。

配布数 247 名のうち、回収数は 241 名で未回収 6 名、今月中には未回収の方からも提出いただける予定であり、回収率は 97.5 パーセントでした。開発事業に関する協力意思についての設問では、協力するが 179 名、74 パーセント、条件によって協力するが 51 名、21.1 パーセント、協力できない、わからないとの回答が 11 名、4.5 パーセントでした。協力する、条件によって協力するを合計すると 95.1 パーセントで、開発に対しての地権者の協力は大方得られる見通しであり、開発事業に関し、協力できないと回答された方に今後しっかりとお話をさせていただくとともに、土地利用調整を進めてまいりたいとの説明がありました。

その後、久保田委員及び北澤委員から会派での政務調査で浜松商工会議所、岡山商工会議所を訪問し、大型商業施設進出に伴う既存商店街への影響などについて調査した内容について報告がありました。

◇ 9 月 25 日には、市理事者から事業の進捗状況について、経済産業省、内閣府への相談の経過、土地利用調整計画が県の同意を得られた福井県永平寺町(えいへいじまち)、アウトレット広島への先進地視察の内容について報告がありました。

その後、「須坂市のまちづくりに寄せて」と題し、国際航業株式会社 地域計画グループ 都市計画担当課長 宮野 貴 氏に、地域未来投資促進法による須坂市の活性化、中心市街地への誘客等について講演をいただき、これからの須坂市のインター周辺開発を含めた活性化施策等について研修を行いました。

◇ 11 月 7 日には、市理事者からインター周辺等開発計画について、市内のものづくり産業の工場立地の希望が 4 社から 6 社程度あることから、地域未来投資促進法に基づく長野地域における基本計画に新たに高速道路東側の物流関連施設と位置づけていた北側部分、九反田町までの間の約 8.8 ヘクタールを拡大し、また今まで物流関連施設と位置付けていた既存市街化区域の北側約 10.5 ヘクタールの部分も、ものづくり産業施設に合わせて変更して、約 19.3 ヘクタールをものづくり産業施設の区域と位置づけ、国に変更申請していきたいとの基本的な考えが示され、今後の進め方については、関係する地権者は、約 50 名で、11 月 20 日に地権者説明会を開催し、意向調査を実施し、長野地域の基本計画の事務局で

ある長野市、長野地域振興局とも協議し、年度内には変更申請を国に提出していきたい。

すでに基本計画を策定済の区域について、鋭意土地利用調整、地域経済牽引事業計画の策定を地権者、関係者、県との調整を進めているが、拡大追加する区域については、地権者の協力が得られる見込みがつけば、策定済の区域とほぼ时期的に大きな遅れはなく、事業の進捗が図れる見込みとの説明がありました。

以上のような活動をしてまいりましたが、インター周辺の開発については、土地利用調整計画、これに連動した事業者が策定する地域経済牽引事業計画の策定、農地法関連の許可等クリアしなければならない課題があります。

しかし、多くの市民の皆様が強く望んでおられる、大型商業施設計画等が実現できるよう、須坂市と一体となって、議会としてできることを着実に進めていきたい所存であります。私たちの任期内の定例会は今定例会が最後ですが、この開発計画が成就し、須坂市がますます発展しますよう、引き続き、何卒皆様方の御協力をお願い申し上げる次第です。

(3) 全員協議会

開議日時 平成 30 年 12 月 7 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 同日開議された議会運営委員会で決定した事項の周知外。

開議日時 平成 30 年 12 月 11 日
開議場所 議会第 4 委員会室
協議事項 同日開議された議会運営委員会で決定した項目の周知外。
組合議会等の報告、実施計画外 2 件。

(4) 三会派有志議員学習会

開議日時 平成 30 年 12 月 1 日
開議場所 議会第 1 委員会室
協議事項 上程された総ての議案の問題点の協議

開議日時 平成 30 年 12 月 6 日
開議場所 議会第 1 委員会室
協議事項 各常任委員会、予算決算特別委員会分科会の審査結果報告

開議日時 平成 30 年 12 月 8 日
開議場所 議会第 1 委員会室
協議事項 予算決算特別委員会の審査結果の対応と最終日本会議の採決についての対応。

開議日時 平成 30 年 12 月 25 日
調査視察 富山市役所、同市内の巡回

視察内容 コンパクトシティを目指す富山市の取り組みについて。

2. 【 私の議会外議員活動 】

(1) 安心・安全のまちづくりの課題について

平成30年度 無所属クラブと日本共産党合同政務調査報告書

(1) 期 日 平成30年12月25日(火)

(2) 参加人 無所属クラブ 代表 佐藤壽三郎 北澤 雄一
日本共産党 代表 久保田克彦 竹内 勉
須坂市民クラブ 代表 宮坂 成一

(3) 視察目的

1) 富山市役所

① 調査事項

○公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

③ 説明を賜った職員

富山市活力都市創造部 活力都市推進課 課長代理 中田 幸宏氏

富山市議会事務局 議事調査課 課長 福原 武氏

富山市議会事務局 議事調査課 主任 桂川 卓也氏

④ 説明を受けた主なる内容

○公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

I 都市の特性として

ア. 富山市の概要

イ. 人口減少と高齢化

ウ. 過度な自動車依存と公共交通の衰退

エ. 低密度な市街地と公共交通の衰退

オ. 富山市を取巻く課題

II 富山市のまちづくりの基本方針

ア. 公共交通の活性化・・・串

イ. 公共交通沿線地区への居住推進・・・団子

ウ. 中心市街地の活性化・・・都心地区(まちなか)

III 公共交通の活性化

ア. 富山市の公共交通網

イ. 公共交通網の活性化(LRTネットワークの形成)

ウ. 富山ライトレールの整備(JR富山港線のLRT化)

エ. JR富山港線の路線移設とLRTの決定

オ. 富山ライトレールの整備概要

カ. 富山ライトレールの整備概要・整備効果

キ. 市内電車環状線化事業・セントラムの整備I

- ク. 市内電車環状線化事業・セントラムの整備Ⅱ
- ケ. 市内電車環状線化事業の整備効果
- コ. 富山市の公共交通網・コミュニティバスの概要
- サ. 地域自主運行バスの運行・呉羽イキイキバスの例
- シ. 路面電車の南北接続事業・事業概要
- ス. 路面電車南北線接続の意義と効果

Ⅳ 公共交通沿線への居住推進

- ア. 公共交通沿線への居住推進～都心地区・公共交通沿線居住推進地区
- イ. あいの風とやま鉄道線における沿線開発

Ⅴ 中心市街地の活性化 等

- ア. 財政面から見た中心市街地活性化の意義について
- イ. グランドプラザの整備と利用
- ウ. グランドプラザの整備前と整備後の比較
- エ. おでかけ整備券事業（1階100円）と相対的行政効果
- オ. 自転車市民共同利用システムと利用状況
- カ. 地場もん屋総本店
- キ. 質の高い魅力的な市民生活づくり（高齢者の外出機会の創出）
- ク. 魅力ある都市景観の形成・花 Tram モデル事業
- ケ. トランジットモール社会実験
- コ. 中心市街地における公有地等を活用したまちづくり
- サ. 地域包括ケア拠点施設の整備～公民連携等～
- シ. 中心市街地において活性化する民間投資等

Ⅵ. コンパクトなまちづくりの効果 等

- ア. 市内電車の利用状況
- イ. 歩行者数と空き店舗
- ウ. 転入人口の増加
- エ. 中心市街地の小学校児童数の増加
- オ. 地価調査によると調査区域の時価は上昇顕著
- カ. 国際的評価の高まりが認められる

【研修に供された資料】

1. 富山市都市整備事業の概要
2. 富山市の概況
3. 富山市の概要

【研修の総括】

コンパクトシティは、少子高齢化、人口減少に対する対処療法ではなく、根治治療だとの指摘もあります。今般、富山市は全国で様々な自治体取り組んでいるコンパクトシティの成功例として紹介されております。一同は興味津々で当地を訪問しました。

富山市は、歴史的文化的にも極めて羨ましい程の遺産がある地であればこそ、コンパクトシティ構想の実施に関しては、森市長の「楽しい・おいしい・おしゃれ」のコンセプトが彩られたまちづくりであることが、研修を通して窺われました。乗車人数（利用客が）が減少したからと、多くの鉄道は廃線の憂き目にあいました。これを何とかして住民のために活かさないかと知恵を絞った中で、集落を団子と捉え、この集落と集落を結ぶ役目を元々あった JR 富山港線を「串」として、この路線の活用と併せて一部移設と LRT の活用構想が素晴らしく感じました。

コンパクトシティを推進するには、財政的な裏付け無くしては適わない事業であり、且つ極めて時間を要するものであり、市民もこの事業に対する理解が無ければ、一步も前に進まないと感じた。即ち富山市民の積極的な郷土再生を公民で携わって行こうとした意気込みが感じられました。大変意義ある政務調査を行うことが出来ました。

私的意見として、廃線になった屋代線が未だ運行されていた頃、私は一つの案として、観光鉄道として屋代～木島に SL を走らせる構想を提唱しました。それがだめなら、路面電車として川田～須坂間を運用すべしと発言しました。路面電車にすることで、川田・須坂駅間にある田中、綿内、井上の各駅の集落内に停留場を設置して、高齢者や学生が使い勝手が効く乗り物とすれば、屋代線利用者が増えると唱え、地元住民の皆さんに「境沢町停留場」の場所までも特定して、屋代線（河東線）存続構想を示したのは三十代後半から四十代前半の頃でありました。

バス運行については、当須坂市においては、「市内循環バス」として、須坂駅～末広通り～ローソン右折～中央交番～信州医療センター～盛進堂右折～本町通り～八町線右折～小山小学校左折～臥竜公園入口から金井原通り～市役所から須坂駅のコースを循環するバスの運行を図ること必要ではないかと、八町線が整備された暁には実施されることを望んでおります。

(2) よりよき明日を求める催しに出席

催名 第 42 回行きとどいた教育をすすめる保護者・地域住民・教職員のつどい」
期日 平成 30 年 12 月 1 日
場所 須坂商工会議所
内容 「子どもを育てる食のチカラ～食を通じて、子どもたちの成長を考えよう～」をテーマとした。

3. 【会派・無所属クラブの動き】

開議日時 平成 30 年 12 月 10 日
開議場所 佐藤事務所
協議事項 19 年度市議選について。

開議日時 平成 30 年 12 月 25 日

開議場所 あづま
協議事項 18年度議員活動総括

4. 【平成30年度12月議会に提出された資料一覧】

文書番号	文 書 名	提出所管課	配布日付	保管場所
20181201	住民登録人口及び世帯数（H30年度住所）	健康づくり課	H301002	議活綴り
20181202	アカカンガルー「おりひめ」の子が死亡	臥竜公園管理課	H301019	議活綴り
20181203	Q-U 検査解答用紙の一部分紛失	学校教育課	10/22	議活綴り
20181204	特養須坂荘の不手際について	長野広域連合	11/5	議活綴り
20181205	地域集約化と ICT を活用した林業	北信州森林組合	11/7	議活綴り
20181206	長野地域連携中枢都市圏の取り組み	長野市企画政策課	11/5	議活綴り
20181207	平成30年度定期監査結果報告書	監査委員	11/20	議活綴り
20181208	先例・事例訂正・加筆箇所	議会事務局	12/11	議活綴り
20181209	先例集新旧対照表	議会事務局	12/11	議活綴り
20181210	須坂市が目指す新しい博物館	生涯学習スポ課	12/11	議活綴り
20181211	須坂市議会慶弔基準	議会事務局	11/13	議活綴り
20181212	水道法改正（案）について	水道局	12/5	議活綴り
20181213	H30年度米子大瀑布紅葉期混雑対策	商業観光課	12/5	議活綴り
20181214	H30年度須坂市ブック塀等改修事業補助金概要	まちづくり課	12/5	議活綴り
20181215	学校給食費検討資料	学校教育課	12/3	議活綴り
20181216	災害時応援協定の締結	総務課	12/3	議活綴り
20181217	年号の表記に関する基本的な考え方	総務課	12/3	議活綴り
20181218	消費税率の見直しについて	総務課	12/3	議活綴り
20181219	消防団出動手当等の算出根拠	消防本部	12/3	議活綴り
20181220	市火災予防条例の改正資料	消防本部	12/3	議活綴り
20181221	市高齢者いきいきプランに関わる施設整備	高齢者福祉課	12/4	議活綴り
20181222	信州須坂ハーフマラソンの結果報告	生涯学習スポ課	12/4	議活綴り
20181223	生涯学習業務等の見直し	中央公民館	12/4	議活綴り
20181224	最終処分場建設に向けた取り組み	生活環境課	12/4	議活綴り
20181225	市女性未来館の廃止について	中央公民館	12/4	議活綴り
20181226	千曲川沿線町区から指定避難場所までの距離 小中学校・公会堂の標高	佐藤壽三郎作成	12/1	議活綴り

④議活綴り：議会活動資料綴りで保管

5. 【2018年12月期・私が注目した報道の見出し備忘録】次回3月議会対策 報道情報収集日 12/1. 2. 8. 16. 18. 21. 22. 24. 26

報道の見出し	出展機関	月日	備 考
総務文教委員会所管			

消防本部			
スプレー缶原因の火事県内 25 件	NHK長野	12/18	
自治体で異なるスプレー缶廃棄 県内 3 市は「穴開け不要」	NHK長野	12/18	
防災ヘリ操縦士増員 体制強化へ	NHK長野	12/25	
学校教育課			
いじめ防止の基本指針 策定促す	NHK長野	12/4	
いじめ 県内「重大事態」 5 件 17 年度調査 県教委が報告	信濃毎日 w	12/11	
高 1 男子がいじめ自殺か＝第三者委で調査へー三重	時事通信	12/19	
わいせつなど教諭 2 人免職＝長野県教委	NHK長野	12/20	
わいせつ教諭ら 3 人 懲戒処分	NHK長野	12/20	
わいせつ教諭 2 人免職＝福岡県教委	時事通信	12/21	
いじめ 0 の公表確認 徹底されず	NHK長野	12/21	
県立高の通学区 実質「全県 1 区」現在の中学 2 年生から	信濃毎日 w	12/21	
児童の体力 全国平均上回る	NHK長野	12/23	
いじめ 0 公表 確認徹底されず	NHK長野	12/24	
子ども課			
事務作業軽減システム 松本市立の全保育園に	信濃毎日 w	12/8	
人権同和教育課			
女性差別の克服 一人一人の意識改革から	信濃毎日 w	12/16	
松本市の生活保護窓口カメラ 中止請願 本会議も不採択	信濃毎日 w	12/21	
総務課			
松本市役所窓口防犯カメラ 設置中止の請願を不採択 市会委	信濃毎日 w	12/14	
県、仕事納め式・仕事始め式取りやめ 働き方改革で	信濃毎日 w	12/15	
成年後見取り組み、自治体で差 支援機関設置、半数未定	朝日新聞D	12/16	
秘密法の運用 審査会から厳しい指摘	信濃毎日 w	12/17	
◇公務員の犯罪			
市職員 酒気帯び運転で懲戒免職			
女性税務署員を停職＝婚活サイトに不正登録－大阪国税局	時事通信	12/14	
女子生徒に「本当に好きか」＝セクハラで高校教諭減給－神戸市教委	時事通信	12/14	
痴漢の巡查部長を書類送検＝2 人を懲戒処分－神奈川県警	時事通信	12/14	
飲酒運転見逃した警察官書類送検	NHK長野	12/21	
12 歳少女に強制性交容疑の警察庁職員、懲戒免職に	朝日新聞D	12/26	

政策推進課			
消費税増 “マイナス” 企業 6 割	NHK長野	12/3	
茅野市が交換日記で出会いを支援	NHK長野	12/4	
地域に新たな働き手 外国人と向き合う長野	日経新聞w	12/8	
ことしを表す漢字一文字は「忙」	NHK長野	12/8	
人手不足軽減に高まる期待＝介護、農業の現場―外国人労働者拡大へ	時事通信	12/8	
製造業 7 期ぶりマイナス 10 月末の景気動向D I	信濃毎日 w	12/8	
首都圏企業誘致へ県内 8 市町が P R 県が都内でフォーラム	信濃毎日 w	12/11	
店舗網活用で商談支援＝地域活性化ネット構築―城南信金など	時事通信	12/14	
長野産黒曜石の矢尻、北海道で出土＝最遠方 6 5 0 キロ、縄文人交流裏付け	時事通信	12/14	
景況感、横ばい＝先行きで貿易摩擦懸念―12 月日銀短観	時事通信	12/14	
日銀短観 県内は 2 期ぶりに悪化	NHK長野	12/15	
中堅・中小企業の海外展開支援へ 八十二銀行	信濃毎日	12/15	
県内の景気指数 2 期ぶりマイナス	NHK長野	12/16	
損保代理店に大廃業の波 高齢化や顧客の変化再編促す	日経新聞w	12/17	
結婚支援で広域連携＝埼玉県久喜市など	時事通信	12/19	
消費増税に何が必要か(上) 過度な対策、反動減を増幅	日経新聞w	12/19	
消費増税に何が必要か(下) 「政争の具」の悪弊脱却を	日経新聞w	12/19	
北陸に最多 2 6 3 8 億円＝整備新幹線の路線別配分―国交省	時事通信	12/21	
長野県、連続 1 0 日の休暇奨励へ＝職員の働き方改革で	時事通信	12/21	
県内景況感「プラス」 5 2 % 1 9 年上半期展望アンケート	信濃毎日 w	12/23	
市場急落で与党、統一選・参院選への影響懸念＝野党は消費増税の中止要求	時事通信	12/25	
障害者雇用水増し問題 県が職員 9 人を処分	信濃毎日 w	12/26	
県や市町村などの障害者雇用 法定率達成は 6 1 ・ 9 %	信濃毎日 w	12/26	
株価急落 トランプリスクの噴出 信濃毎日社説	信濃毎日 w		
株価急落で政権「経済は好調」 支持率連動を警戒	日経新聞w		
財政課			
地方に手厚く＝統一選控え配慮―19 年度予算案	時事通信	12/21	
県内市町村の決算 3 年連続減少	NHK長野	12/21	
福祉環境委員会所管			
健康づくり課			
「ぴんぴんころり」健康長寿学ぶ 佐久市	NHK長野	12/1	

国保保険料1人9万1914円 県全体18年度	信濃毎日w	12/5	
インフルエンザ「流行期入り」	NHK長野	12/12	
インフル患者数 前週の2倍以上	NHK長野	12/19	
医療・介護 県民の個人データ一元化 県、分析システム構築へ	信濃毎日w	12/21	
福祉課			
公正証書作成費、全額補助＝母子家庭の養育費確保で一大阪市	時事通信	12/25	
松本市、生活保護課の窓口などに防犯カメラ 1日から運用	信濃毎日w	12/25	
市民課			
警察官などを装い800万円詐取	NHK長野	12/8	
県民向けの安価な自転車保険検討 県、義務化巡り	信濃毎日w	12/11	
「チェーン義務化」14日施行	NHK長野	12/14	
川に軽トラ転落 79歳女性死亡	NHK長野	12/19	
自動運転中の携帯使用可＝道交法改正で試案－20年施行目指す・警察庁	時事通信	12/20	
誤った道路標識で反則切符20件	NHK長野	12/25	
生活環境課			
自治体で異なるスプレー缶廃棄 県内3市は「穴開け不要」	信濃毎日w		
経済建設委員会所管			
農林課・農委会			
長野の4農協が合併協議＝経営効率化図る	時事通信	12/21	
長野地方気象台の職員4人増員へ 火山防災など自治体と連携	信濃毎日w	12/22	
今年の年平均気温、県内主要全5地点で最高更新か	信濃毎日w	12/22	
豚コレラ 県内も警戒強化	信濃毎日w	12/26	
産業連携開発課			
地域に新たな働き手 外国人と向き合う長野	信濃毎日w	12/8	
県内企業60%余「後継者不在」	NHK長野	12/18	
商業観光課			
マルイチ産商が菓子を自主回収 全国で販売、6万3千個が対象	信濃毎日w	12/12	
「あずさ」全席指定 時間も短縮	NHK長野	12/25	
外国人客増でさらなる誘客強化へ	NHK長野	12/24	

まちづくり課			
通学路80%が安全確保難しい	NHK長野	12/17	
須坂市の動物園でえとの引き継ぎ	NHK長野	12/24	
水道局			
水道法改定案 「民営化」はそぐわない【社説】	信濃毎日w	12/5	
水道民間参入 慎重対応を 県会、国への意見書案可決へ	信濃毎日w	12/7	
蛇口から安全な水、いつまで？ 法改正で手探りの自治体	朝日新聞D	12/17	
水道、民営か直営か 人口減、老朽化…悩む自治体	朝日新聞D	12/17	
カーボンナノチューブ使い海水を真水に 信大など来年3月に実証試験	信濃毎日w	12/21	
各ガソリン価格			
ガソリン価格 5週連続値下がり 155円/10	NHK長野	12/6	
ガソリン価格 6週連続値下がり 153.9円/10	NHK長野	12/13	
ガソリン価格 7週連続値下がり 153.4円/10	NHK長野	12/20	
憲法関連			
「国民思う気持ちに感謝」＝天皇誕生日の参賀者ら一皇居	時事通信	12/23	
国政			
「なぜ照射」驚きと戸惑い＝韓国軍レーダー―防衛省	時事通信	12/21	
議員活動資料			
学歴と人生の格差(1) 現役世代の過半数は非大卒	日経新聞w	12/19	
学歴と人生の格差(2) 「人口スカイツリー」時代へ	日経新聞w	12/20	
学歴と人生の格差(3) 大学進学は不確実な投資	日経新聞w	12/21	
学歴と人生の格差(4) 大卒と非大卒層に分断	日経新聞w	12/24	

【北信濃鏡】

- 12/1 民主教育を進めるセミナー（商工会議所）。行政書士業務：工事請負契約立会、3会派学習会、報道情報収集・整理
- /2 総務文教委員会審査の議案、調査研究項目の確認、湯っ蔵ンド、報道情報収集・整理
- /3 総務文教委員会、総務文教分科会審査。懇親会於：吉向
- /4 （福祉環境委員会、福祉環境分科会）、行政書士業務：農振除外、相続、入管
- /5 （経済建設委員会、経済建設分科会）、行政書士業務：分筆手続、まきばの湯
- /6 三会派学習会
- /7 議会運営委員会、全員協議会、予算決算特別委員会、記念写真撮影、三会派学

